



斧 (おの) 切る・はつる道具

日本の木造建築の伝統のかげには、大工の肉体の一部となり、使い馴らされてきた多くの大工道具がありました。代表的な大工道具をとりあげ、解説します。

2. 斧 (ちょうな)

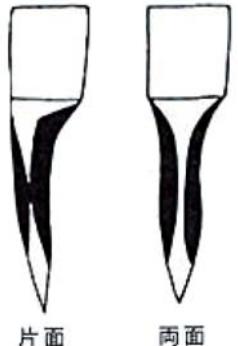
斧 (ちょうな) は、部材の上面をはつるのに使用します。

材木を角材に削り出したり、小屋梁の座取り、破風の荒削りなどの荒仕事のほか、床柱などではつり跡をそのまま装飾的に残す、なぐり仕上げにも使われます。

柄尻を両手で握り、刃を自分の方に向けて打ち下ろします。



▲ 斧の使用法



▲ 斧刃の側面



▲ 斧 左から片面型、両面型

木目に沿って割りはがすように使い、仕上げの段階では薄く長くはつるのが良いとされます。斧の刃は主に両刃で、刃の側面がヒツの中心線に対してほぼ左右対称の形をしている両面のものと、一方に片寄っている片面のものとがあります。刃幅は三寸から三寸五分位が一般的です。鉈と同様、使用する地域によって好まれる形が微妙に異なります。

柄には主にエンジュの木を使用します。立木のうちに藤づるで縛って曲げ物に仕立て、頃合をみて長めに切り、乾燥させます。

柄は、構から見て刃が柄よりやや内側に入る（ごむ）ようにすげます。これは、打ち下ろした時にはつり面と切刃の面が平行になるようするために、使用者の背の高さや柄の山の高さによって、ヒツへのすげ方を調節します。



コラム 象徴としての斧鉈

古来、人々は、神は山に降りると信じていました。仙人にとって山は神が領有する聖域であり、そこに踏み込むには厳重な物忌みに服す必要がありました。伊勢神宮の遷宮のときに、用材を伐り出す時には、いろいろの神事が行われるなかで、斎斧が最初にうたれるといいます。また諏訪大社の御柱祭りでは、御柱を伐り出すときには朱塗りの神斧が使われるといいます。斧や鉈には魔性を断ち切る意味もこめられます。仏教では鉈斧（えっぷ/おっぷ）とよばれ、菩薩像が手にしているのを見ることができます。修驗道では、山伏が山に修行に入る時の法具の一つとされています。

こころ豊かなスローライフのための情報誌

木族の家通信

株式会社木族の家
きぞく KIZOKU NO IE
2016年11月1日号（毎月1日発行）

No.97

□□□□□□ 快適にくらす耳よりなお話を□□□□□

紅葉狩りには、もうお出かけになりましたか？

海外の人々から「世界一美しい」といわれているそうです。
秋の深まりを日増しに感じる今は、絶好の行楽シーズンでもあります。
紅葉狩りのほか、登山やハイキング、温泉に行くのも楽しそうですね。

季節のカイテキ

「かしこい照明」で毎日明るくカイテキに！



人感センサー付き照明で明るく帰宅&防犯にも効果！

日が暮れるのが早くなりましたね。帰宅時に暗くてカバンから鍵を取り出すのに一苦労…といった経験ありませんか？人感センサー付きの照明をつければ、近づく

だけで自動的に点灯・消灯するからとても便利ですよ。防犯にも効果を発揮します。廊下や階段、トイレを人感センサー付き照明にすれば、夜中にトイレに行くのもラクラクです。消し忘れの心配もなく、電気代も節約できます。

暗くなると自動点灯！

庭や門には、明かりセンサー付きの照明が便利ですよ。暗くなると自動的に点灯し、明るくなると消灯します。また、遅延消灯スイッチ付きの玄関用照明器具も登場しています。玄関を出るときにスイッチをオフにしてもしばらく点灯しているから、明るくお出かけできるんですよ。

季節の省エネ

使い方で差がつく温水洗浄便座の省エネ！

便座と洗浄水の温度は低めに！
便座と洗浄水の温度を低めに調節すると省エネになりますよ。季節や気温に合わせてこまめに調節してみてください。タイマー機能や自動節電機能がついていれば、それらを活用することでさらに消費電力を抑えられます。旅行などで長時間使用しないときは電源をオフにしましょう。



使わないときはフタを閉めましょう！

使った後、フタを開けっぱなしにしていませんか？フタが開いていると熱が逃げてしまい、便座を温めるのにムダな電気がかかるかもしれません。忘れずにフタをピッタリ閉めるようにしましょう。

買い替え＆リフォームで省エネ！

最新のものは大きく省エネ性が向上しているので、長期間ご使用であれば、買い替えることで消費電力を大幅に減らせます。また、便器の節水化も進んでいるから、便器も含めて交換＆リフォームすれば、電気も水も節約できますよ。



